

くさしぎ便り No.2

くさしぎ・草の根市議と市政を考える会 2012年12月発行

「くさしぎ便り」No.2をお届けします。

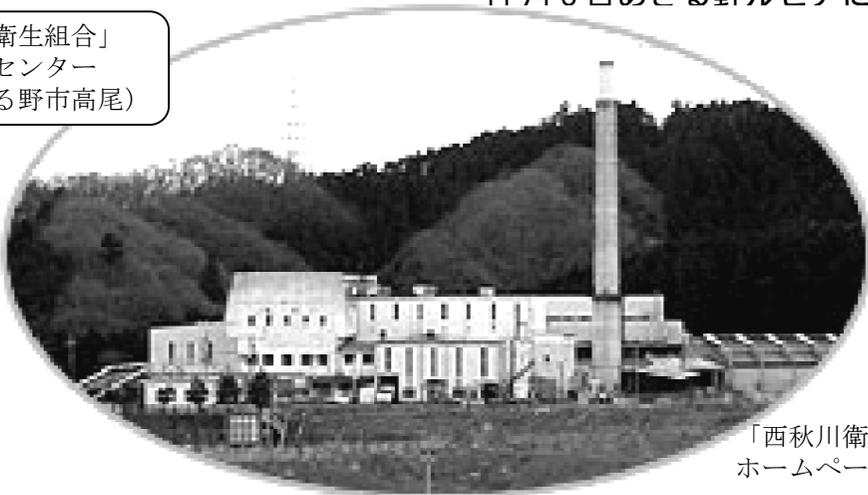
今回は私たちが生活していく上で、避けては通れないごみの問題です。

あきる野のごみはどこで処理されていますか？ 清掃車から先は知らな～いという方はご一読を。

「あきる野っばら 学びの場 その2」 ご報告

11月8日あきる野ルピアにて開催

「西秋川衛生組合」
高尾清掃センター
(あきる野市高尾)



「西秋川衛生組合」
ホームページより

「ごみ問題から行政と私たちの生活を見直す」

ー原発と対比してー

話題提供者 佐野泰道さん

佐野泰道さんプロフィール：

2005年より「あきる野ゴミ会議」市民メンバー。2007年「西秋川衛生組合ごみ処理施設建設基本計画（中間報告）」に対して意見書を提出。2009年「西秋川衛生組合ごみ処理施設基本計画（ガス化熔融炉）の再検討を求める陳情書」を連名で提出 あきる野市民白書に「増えつづけるゴミの量」の題で論稿掲載。あきる野市のゴミ問題に関し、提言活動を続けている。

「名称」で本質が隠されている

昨年、福島原発事故が起きて、私たちにはいろんなことが見えてきました。たとえば、原子力発電所はそもそも発生した熱の3分の1しか発電に使われておらず、残りの3分の2は廃熱として海に捨てられてい

ました。とすれば、これは「原子力発電所」ではなく「海温め施設」と呼ぶべきでしょう。原子力発電所と呼ぶことで私たちはその施設の本質を見誤ってきたと言えます。

社会に広がる安全神話、科学万能主義、原子力村と言われる御用学者、経済優先を考える政治家、はては核兵器転用の選択肢

を捨てたくない政治家たちがそうした幻影を生む「名称」を成り立たせてきました。

それと同じことが、現在、あきる野市高尾に建設中の新ごみ焼却炉の「ガス化溶融炉」にも当てはまります。ガス化溶融炉は「熱交換施設」と言われていますが、国が定める基準は余熱の14%が発電できればよく、実は80%以上が廃熱されています。

名称に惑わされず、本質に向き合わないかぎり、「生活の見直し」は始まりません。



「ガス化溶融炉」って？

あきる野市は昭和48年に日の出町、檜原村と「西秋川衛生組合」を結成し、昭和52年からあきる野市高尾にゴミ焼却炉を建設して可燃ごみを燃やしてきました。

ところがその炉が老朽化したこと、焼却灰や不燃ごみを埋め立てている御前石最終処分場（現在は第2処分場を利用）に余裕がなくなり少しでも延命したいことの二つの理由で、新炉にガス化溶融炉を選定し、現在工事中です。（来年度より運転予定）

ガス化溶融炉は焼却後に出た最終処分物（スラグ）が道路の路盤材などにリサイクルされるため埋立ての必要がなく、御前石最終処分場の寿命を長くする「切り札」と言われています。しかしガス化溶融炉といえど問題点はあります。それについては後で見ることにして、ガス化溶融炉の処理の流れを行政の説明に従ってお話しします。

①ごみを低酸素状態（空気を送らない）で熱し、ガスを発生させる。

②そのガスを燃料にして1400度の熱を発生させて、その熱でごみを溶かす。そのため他の燃料が不要。これを「自燃」と呼ぶ。

③溶けたごみを大量の水で急激に冷やし、ガラス状のスラグを作る。スラグは路面材などに使用でき（＝最終処分物が出ない）、重金属の封じ込めもできる。

④この工程から発生する排ガスにダイオキシンは含まれない。（1400度の熱で分解済）ガス化した重金属はバグフィルターで除去。

⑤余熱を利用し、蒸気タービンで発電。

（1）ごみ排出量（可燃・不燃・資源・粗大・有害）多摩26市比較

① 収集量（家庭ごみ）比較

[g/人日]

	市町村名	H19 順位	19年度	H20 順位	20年度	H21 順位	21年度	H22 順位	22年度
1	八王子市	3	618.2	6	613.1	5	593.9	7	590.1
2	立川市	8	646.2	8	629.1	8	610.7	11	609.2
3	武蔵野市	23	743.3	23	720.6	23	695.6	24	695.5
4	三鷹市	15	678.8	14	660.1	12	629.9	10	606.7
5	青梅市	10	662.4	15	663.6	15	646.6	16	638.0
6	府中市	12	667.6	11	643.5	13	640.3	1	537.3
7	昭島市	13	673.5	13	658.2	14	643.6	14	633.9
8	調布市	16	688.6	16	665.8	16	649.6	15	635.6
9	町田市	1	613.1	3	601.5	3	587.8	4	581.9
10	小金井市	9	654.2	9	629.2	9	612.1	9	603.3
11	小平市	21	727.6	21	714.5	22	693.7	22	682.3
12	日野市	5	639.7	10	633.0	7	606.8	8	595.9
13	東村山市	2	617.6	4	601.6	4	587.9	3	578.1
14	国分寺市	17	696.8	17	679.2	18	663.9	19	664.3
15	国立市	18	698.4	19	686.3	19	671.3	18	657.6
16	福生市	22	731.8	22	718.3	24	699.3	23	690.8
17	狛江市	19	702.1	18	680.7	17	663.3	17	645.6
18	東大和市	25	769.6	25	741.5	21	688.6	21	679.9
19	清瀬市	4	627.6	5	611.5	6	603.3	6	587.5
20	東久留米市	6	641.4	7	628.8	10	618.5	13	612.0
21	武蔵村山市	24	753.0	24	735.3	25	712.3	25	710.5
22	多摩市	14	675.9	2	592.4	2	585.6	5	586.2
23	稲城市	11	666.6	12	650.4	11	625.4	12	611.9
24	羽村市	20	719.5	20	705.7	20	679.6	20	666.6
25	あきる野市	26	864.2	26	842.2	26	804.9	26	785.8
26	西東京市	7	645.9	1	578.1	1	570.2	2	577.4

【あきる野市は多摩26市の中でごみ排出量3年連続ワースト1】



しかし、真実は？

以上が安全神話、技術万能に基づく行政やメーカーのいいことづくめの説明です。しかし実態を見ると様々な問題があります。

①費用の問題…溶融炉を「スラグを作るリサイクル施設」と捉えると、費用が莫大すぎる。「リサイクルは税金の無駄遣い、すべて焼却せよ」という学者もいる。因みに新炉の建設費は80億円、使用年限は20年、その間の運転維持費は年間6億円もかかる。

②事故はないと言っているが「エコクリーン松江」で破損事故や発煙事故があるなど、各地で事故や故障が多発している。

③ガス化溶融炉で生成される物質は何百種～数千種。中にはダイオキシンより怖い物質も含まれるが、国が規制している数種の物質しか除去対象ではない。他は野放し。

④バグフィルターでも有害物質を完全に除去できず、目を細かくすると目詰まりする。

⑤スラグから重金属が流出する恐れがある。

⑥スラグは建設廃材のリサイクル品と競合する。行政の後押しなしには流通できない。など、費用及び市民の命や健康の見地から見逃せない問題がいくつもあります。



ごみを出さない生活を

ガス化溶融炉に移行した時に、もう一つ大きな問題があります。それは私たちの意識の問題です。ガス化溶融炉ではプラスチックもすべて溶かすことになっているので、ごみの分別意識の希薄化が懸念されます。しかも最終処分物（スラグ）が再利用されれば、減量意識も薄まるでしょう。

このようにガス化溶融炉がさまざまな問題を抱えていることを考えると、私たちは

これまでと同様にごみを限りなくゼロに近づける努力を続けることが大切だと思います。そしてごみが出ない、ごみを出さない社会の枠組みを構築していくことです。

具体的な方策としては、生ごみを分別収集して堆肥化するシステムを作る、市民をごみ減量に動機づけるために、例えばごみ有料袋を高額化し、生ゴミ分別収集を無料にするなどの方法が考えられると思います。

20年後の選択を市民の手で

20年後には、来年度から運転するガス化溶融炉が使用年限を迎えます。その時どうするか、今から20年後の選択の検討を始め必要があると思います。私たちの命や健康を考えるなら、行政と行政寄りの有識者だけに20年後のごみ焼却炉検討委員を任せることはできません。市民や市民が推薦する専門家で委員が構成されるよう働きかけていかなくてはならないと思います。(了)

❁ 会場での主なやりとり

- ・軟質プラスチックをあきる野市も燃やして問題になったが、ダイオキシンは大丈夫か→(佐野) ダイオキシンは800度以上で分解する。一応現在も800度以上で燃焼している。新炉は分別せず溶かす方式。
- ・ガス化溶融炉に移行する最大の理由は？→(佐野) 最終処分場の容量が切迫しているため。しかし埋め立て済みのごみも燃やしてスラグ化しようという計画には疑問がある。掘り起こす際に、有害物質飛散の可能性がある。
- ・御前石最終処分場の下に敷かれたシートは安全か→(佐野) 最高技術のシートで今のところ問題はない。
- ・「ゴミ会議」とは？→(佐野) 行政、市民、事業者で構成しごみ減量のために活動している。啓発として会報「へらすゾウ」の発行・学習会・見学会実施などを行っている。
- ・ごみ処理に関わる財政負担は？→(佐野) 年6億数千円。減量すればその税金をもっと有意義に使える。

「くさしぎ・草の根市議と市政を考える会」の紹介

「くさしぎ」は鳥の名前ですが、「草の根市議」という意味も込め、会の名前としました。昨年の福島原発事故以後、多くの気づきがありました。その中で「今まで私たち市民は、あまりにも政治家に政治をお任せしてきたのではないか」という苦い反省もその一つです。「くさしぎ」はこの反省に立ち、もっとも身近な市政に、私たちの代表の「草の根市議」を誕生させ、その市議とともに市政に主体的に関わろうと呼びかける、あきる野市民の会です。

昨年11月からこうした趣旨に基づき、西多摩地区の草の根市議に話を聞いたり、どういう市議が望ましいか等話し合いを重ねてきました。その結果、市民代表としての「草の根市議」は次のような要件を持つのではないかとイメージがまとまりました。

- ①市民といっしょに市政を考える。
- ②市の現状と問題点を市民に情報発信する。
- ③開発優先ではなく、環境優先(放射能への危機感を持つ)。
- ④マイノリティの視点をすくいあげる。

以上のような要件を満たす市議を市議会に送り、ともに市の課題を考え、ともに解決していく良き伴走者になりたいと考えています。あきる野市を今以上に暮らしやすい「マイタウン」にできるよう、多くの市民が「くさしぎ」の活動に参加して下さる事を期待しています。

～つながりましょう～

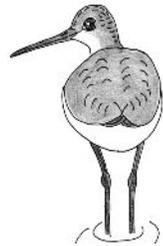
(_) / 「くさしぎ」メンバー募集中 (* ^ _ ^ *)

「あきる野のごみが気になる」「放射能は大丈夫?」「市の財政はどうなってるの」なんて市政に少しでも興味がわいた方、「くさしぎ便り」を今後も読みたい方、「くさしぎ」のメンバーになりませんか? 市民として楽しく市政に関わりましょう。

連絡先 ・ e-mail kusasigi@nifty.com

・190-0154 あきる野市高尾 182-1

TEL&Fax 042-596-4569(佐橋)



くさしぎニュース



*「くさしぎ・草の根市議と市政を考える会」は12月7日に正式に、政治団体登録をいたしました。略称は「くさしぎ」です。これからも皆さんと一緒に活動していきたいと思ひます。

*「くさしぎ・草の根市議と市政を考える会」共同代表決定・・・佐橋京四郎さん、田中直子さん
佐橋京四郎共同代表からごあいさつ

福島や沖縄の人たちの思いを置き去りにして、国防軍だの核武装だの、危険な言葉が飛び交う社会はまともとは思えません。政治を手元に引き寄せ、ふつうの市民が主体的に政治にかかわっていく。そのために草の根の市議を誕生させ、一緒に考え、行動していく。そんな目的は真剣なものです。が、「くさしぎ」は、肩ヒジ張らず、それぞれの考えを率直に出し合い、異なる意見にも耳を傾けながら、楽しく活動できる会でありたいと思ひています。

